

# 子どもの笑顔でつながる ひと・まち

～みんなおいでよ 子育てカフェ～

北九州市立藤ノ木市民センター【市民センター】 館長 本田 ひとみ  
職員 柴戸 忍

## 1. 事業名

子育てカフェ藤ノ木

## 2. 事業の目的

北九州市では、「子育て日本一を実感できるまち」の実現を目指し、子育て支援の充実に積極的に取り組んでいます。少子高齢化、核家族化がますます進むなか、家庭で子育てに迷い悩みを抱え込んだり、家族の関係性に問題がおきたり、子育て世代が孤立することのないよう、また、子どもの人権を大切にするために、地域にサポート体制が必要であると考えます。子どもが子どもらしい幸せな笑顔で成長し、親が子育ての喜びを感じられるように、親子・家族・さらに周囲の人たちが深い信頼関係を構築し、このまちに住んでよかったと思えるようなまちづくりにつなげます。また、子育てサポーターなどのボランティアの活躍の機会を創出し、地域の教育力の向上を目指します。

## 3. 事業の実施主体

北九州市立藤ノ木市民センター

藤ノ木市民センター

協力

支援

子育てサポーター「ふじのき」・読み聞かせ「ゆりかご」  
高齢者支援ボランティア「ユーカリの会」  
食生活改善推進員

藤ノ木校区まちづくり協議会  
若松区役所保健福祉課

## 4. 事業の内容

### (1) 子育て講演会

子育てを楽しく、また育てる喜びを感じられるためのヒントやアドバイスを聞いたり、親子で一緒に遊べたりする講座です。

テーマ「うちの子 最高！」

講師 幼児教育専門家 熊丸 みつこ 氏

自分の子育ては間違っていないかなど子育てに悩む母親に「子どもの困った行動で親がいらいらするのは、子育てが順調な証拠」「後で一はだめよ」「うちの子は最高よ」と背中を押してくれるお話に、笑ったり泣いたり。最後は、新聞紙をちぎったり投げたりの楽しい遊びに親子の笑顔と笑い声がはじける講演会でした。



【降り注ぐ新聞紙の雪～】

## (2) おっはー運動会

★7プログラム★	
1	はじめのことば
2	みんなでたいぞう
3	サンゴの海で スーイスイ 
4	急いで コロコロ
5	みかんちゃん とって 
6	ずいゆわり 
7	パパママ!がんばって 
8	たまれ 
9	パンくいきょうそう 
10	おわりのことば 

きる子育てサポーター手作りの運動会を行いました。乳幼児親子だけでなく、祖父母・兄弟なども一緒に参加できるので、市民センターで地域に親子デビューを促す機会となり、仲間づくや多世代のふれあいの場となりました。

藤ノ木市民センターでは、子育てフリースペースとして「屋根付き公園おっはー藤ノ木」を毎月第2・4火曜日の10時～12時で行っています。第2火曜日では、若松区役所保健福祉課の保健師による乳幼児なんでも相談、両日とも子育てサポーターの見守り、読み聞かせ「ゆりかご」による絵本の読み聞かせを行っています。拡大事業として、家族も一緒に参加で



【みんなで準備体操♪】



【サンゴの海で  
スーイスイ～】

## (3) 子育て支援者のための講演会

託児だけでなく、市民センター講座の講師やボランティアとして活躍している子育て支援者や地域の方々と子育て中の親子も参加し、子どもの健やかな成長のために大切なことについて学びます。

テーマ 「生まれてきてくれてありがとう～少年非行の現場から～」

講師 福岡県少年育成指導官 堀井 智帆 氏

北九州少年サポートセンターで、思春期の子どもの問題行動に関する電話相談、立ち直り支援、広報活動などを行っている講師に、少年非行の現状や実態、幼児期のしつけや子どもとの対話の大切さ、接し方についてお話を聞き、子育てをサポートすることの重要性を学びました。



【参加者の目に  
光るものが…】

## (4) ふじっこフェスタ



【こども店長が  
小さい子のお世話♡♡♡】

乳幼児の親子、小学生と一緒に楽しめるゲーム大会です。まず、子育てサポーターと一緒に小学生がゲームを楽しみ、後半は小学生がこども店長として乳幼児親子のお世話をしながらゲーム大会を行います。昼食はふじっこレストランを設営し、高齢者支援ボランティア「ユーカリの会」が作ったカレーを食べました。午後は読み聞かせ「ゆりかご」による‘おはなし会’とレクレーションを行いました。世代間の交流をしながら、子どもたちに相手を思いやる心を育む機会となりました。



【お父さんも一緒にさかなつり🐟】

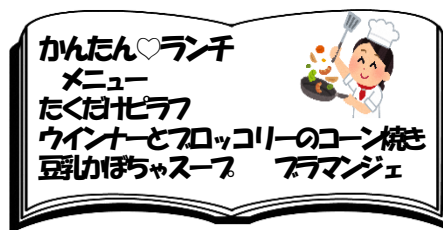
#### (5) すこやかクッキング

子どもの健やかな成長に大切な食について保健福祉課の管理栄養士から基礎的な乳幼児の栄養や食習慣などを学んだ後、子育てサポーターが託



児を行っている間に、食生

活改善推進員とともに実際に作った料理を親子、サポーターと一緒に試食します。市民センターのホールがカフェレストランとなり、ランチタイムを会話も楽しく和やかに過ごしました。



おいしくできました！

### 5. 事業の成果

「みんなおいでよ」を合言葉に、参加しやすく、参加したくなるカフェとして事業を運営しています。親子だけでなく、家族の参加も増え、仲間づくりと学びと遊びの機会になっています。さらに、子育てカフェでは市民センターを始め、区役所、児童館、保育所の毎月の行事を載せた「子育てカレンダー」を年2回発行しており、子育て世代の情報収集に役立っています。また、子育てサポーターや読み聞かせボランティアだけでなく、様々な体験活動を行う子ども講座やキャンプには、PTAのOBの方々、畑マイスターなど力強いサポーターが参画し、地域の教育力の向上と世代間の交流につながっています。そして、地域の宝である子どもたちを家庭だけでなく地域全体で見守り育てるという風土が育ち、このまちに住んでよかったというシビックプライドを醸成しています。

### 6. 課題と解決に向けて

運動会やフェスタのような体験型事業に比べ講演会は参加者が少なくなるので、一人でも多くの参加があるよう、講演会の企画内容の充実と広報の工夫に努めます。また、子育て世代が地域デビューしやすいよう「子育てカレンダー」を市民センターだけでなく、保育所、児童館、公民館類似施設などで掲示、配布し情報提供していきます。そして、より多くの人が集うことにより、仲間づくりからネットワークの構築を図り子育て支援の輪を広げます。サポーターの高齢化も課題です。地域活動者の確保と育成のために、生涯学習市民講座や家庭教育学級の充実を図り、さらに地域事業への参加を促進し、活動者としてデビューする機会を創出します。地域の様々な世代の人たちが市民センターに集い、交流することで人と人とがつながってふれあいのまちとなり、その中心にいつも子どもたちの笑顔がある地域づくりを目指します。「SDGs」‘誰一人取り残さない’をスローガンに健康・福祉、平和・公正、経済、気候変動などの17の持続可能な開発目標の実現を目指す北九州市において、市民センターでこのような事業を通して、将来的にも様々な世代の人が笑顔とふれあいが溢れる住みよいまちづくりにつながる活動を行っていきます。

#### 問合せ先

〒808-0073 北九州市若松区赤島町 20-13

藤ノ木市民センター 館長 本田ひとみ

TEL:093-771-7955 FAX:093-771-7956 E-mail: fj-sf@ktqc03.net